

# 一般国道153号 飯田南道路(飯田市山本地区・伊賀良地区)における計画段階評価

## 1. 課題

### ①朝・夕の渋滞

○飯田市街地への通勤等のアクセス路として機能している国道153号は、通勤交通等が増える朝・夕を中心に渋滞が顕著。(写真1、図1)

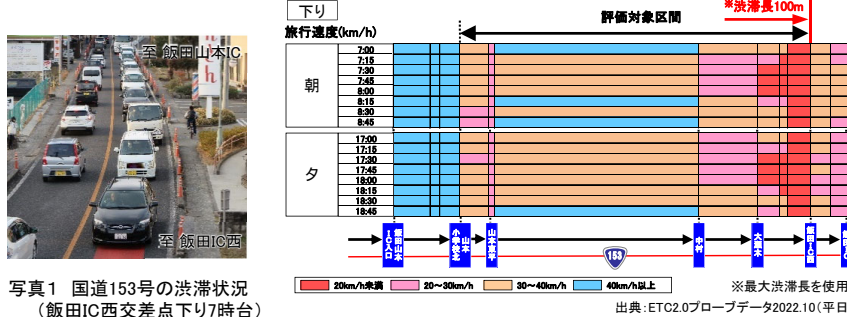


写真1 国道153号の渋滞状況 (飯田IC西交差点下り7時台)

### ②交通事故

○評価対象区間の死傷事故率は、43件/億台キロであり、長野県平均の約2倍。(図2)  
○十分な歩道幅員が無い区間においては、通学児童をはじめ、歩行者の安全性が懸念。(写真2)

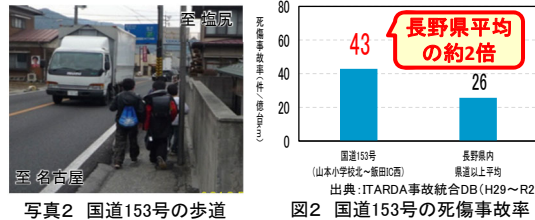
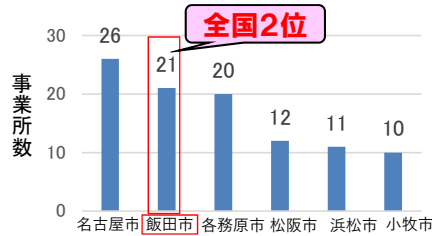


写真2 国道153号の歩道

### ③リニア駅を中心とした道路網のアクセス強化

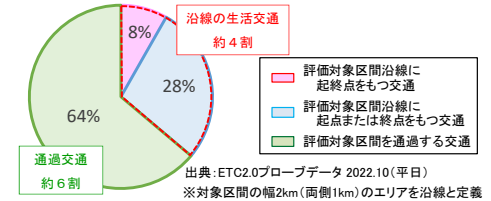
○飯田市は、航空宇宙産業のクラスター形成特区指定企業の集積数が全国2位であり、周辺には豊富な観光資源も存在。(図3、図4)  
○リニア中央新幹線開業により観光需要増加が見込まれ、リニア駅を中心とした道路網のアクセス強化が必要。(図5)



## 2. 原因分析

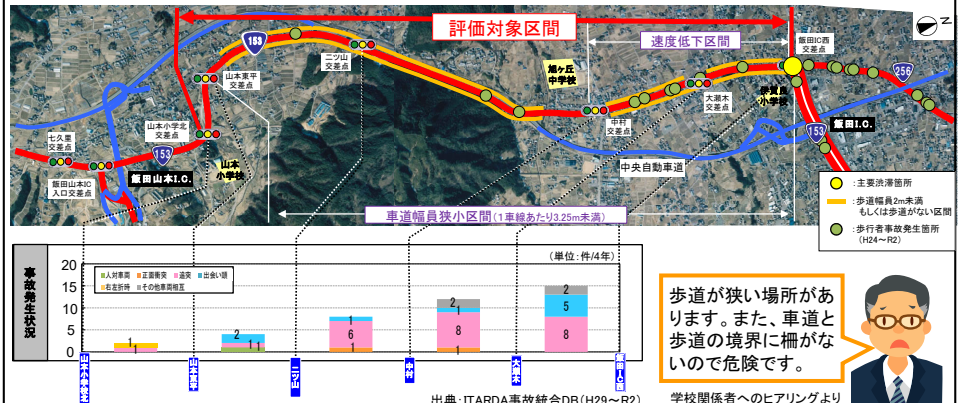
### ①生活交通と通過交通の混在

○評価対象区間を通る交通の内、生活交通が約4割であり、残る6割は通過交通。(図5)  
○生活交通と通過交通の混在により交通が集中し、交通容量の不足による混雑が発生しており、混雑度は1.56。



### ②速度低下による追突事故の発生、歩道幅員不足

○速度低下を原因とする追突事故が多発。(図6)  
○十分な歩道幅員がない区間においては、歩行者事故も発生。(図6)



歩道が狭い場所があります。また、車道と歩道の境界に柵がないので危険です。

### ③脆弱なアクセス路

○リニア中央新幹線開業による交通量増加が見込まれ、渋滞の更なる慢性化が観光客誘致等を阻害。(図7)



## 3. 政策目標

- ①交通の円滑化
- ②交通安全の確保
- ③地域振興

一般国道153号 飯田南道路(飯田市山本地区・伊賀良地区)における計画段階評価

4. 対策案の検討

| 評価項目      |          | 案1: バイパス案   |  | 案2: 現道改良+バイパス案  |   | 案3: 現道改良案  |  |
|-----------|----------|---|--|---|---|--|--|
| ルート帯概要    |          | 全線でバイパスを整備し、通過交通を分離することで、渋滞や事故が懸念される箇所の課題解消を図る案<br>約 4 km |  | 南側で現道拡幅、北側でバイパスを整備し、沿道利用を一定程度配慮しつつ市街地部の通過交通分離を図る案<br>約 6 km |   | 全線で現道を拡幅し、沿道利用に配慮しながら、渋滞や事故が懸念される箇所の課題解消を図る案<br>約 5 km |  |
| 政策目標      | 交通の円滑化   | 渋滞  | ◎ バイパスに交通が移ることで交通量が減少し、渋滞が少なくなる                                | ◎ バイパス区間に交通が移ることで交通量が減少し、渋滞が少なくなる                           | ○ 渋滞は少なくなるが、混雑している飯田IC西交差点を回避できない         |  |  |
|           | 交通安全の確保  | 事故  | ◎ 線形の良いバイパスができることで、安全性が向上                                      | ○ 坂道は残るが、急カーブがなくなり、安全性が向上                                   | ○ 坂道は残るが、急カーブがなくなり、安全性が向上                 |  |  |
|           |          | 歩行者の安全  | ◎ バイパスに交通が移ることで、歩行者の安全性が向上<br>なお、現道については歩道の幅を広くすることも可能となる      | ◎ 現道を改良する区間で歩道の幅が広くなり、安全性が向上                                | ◎ 歩道の幅が広くなり、安全性が向上                        |  |  |
|           | 地域振興     | 移動のしやすさ   | ◎ リニア長野県駅から観光地(星神温泉)まで<br>現状:26分 → 将来:21分                      | ○ リニア長野県駅から観光地(星神温泉)まで<br>現状:26分 → 将来:23分                   | ○ リニア長野県駅から観光地(星神温泉)まで<br>現状:26分 → 将来:24分 |  |  |
| 配慮すべきポイント | 自然環境の保全  | 自然環境  | △ 全線で道路を新しく整備するため自然環境の変化が大きい                                   | △ バイパス区間において道路を新しく整備するため、自然環境の変化が大きい                        | ◎ 全線、現道を改良するため、自然環境の変化が小さい                |  |  |
|           | 生活環境への配慮 | 集落  | ◎ 集落を回避するため工事中における生活環境への影響は小さい                                 | ○ 現道を改良する区間において集落の近くで工事をするため、案1より工事中における生活環境への影響が大きい        | △ 集落の近くで工事をするため、工事中における生活環境への影響が大きい       |  |  |
|           |          | 転居が必要な家・店舗の数  | ◎ 集落を回避するため、転居が必要な家・店舗の数が少なく、現道の沿道改変がない                        | ○ 現道を改良する区間で集落を通過するため、転居が必要な家・店舗の数が多く、現道の沿道改変がある            | △ 集落を通過するため、転居が必要な家・店舗の数が多く、現道の沿道改変がある    |  |  |
| その他       | 災害における影響 | ◎ 土石流等の危険性がある地域を回避するため、他案に比べて災害時にも道路を通れる可能性が高い            | ○ 現道活用区間の一部において、土石流等の危険性がある地域を回避できないため、案1に比べて、災害時に道路を通れるか懸案が残る | △ 概ね全線において、土石流等の危険性がある地域を回避できないため、案1に比べて、災害時に道路を通れるか懸案が残る   |   |  |  |
|           | 経済性      | ○ 約 230～250億円   | ◎ 約 190～210億円  | ○ 約 220～240億円   |   |  |  |

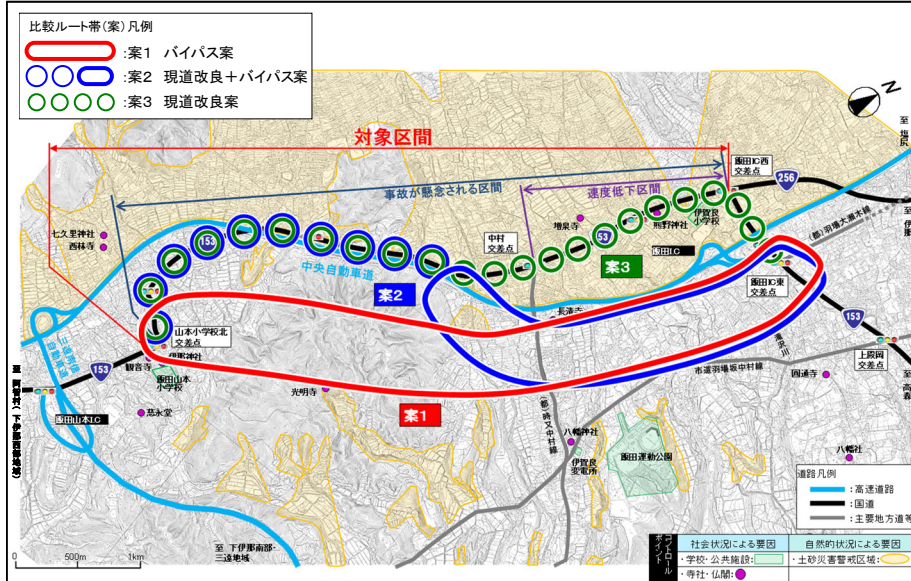
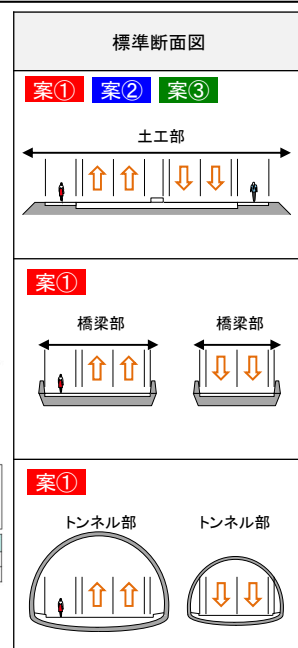


図8 当該地域における対策案の検討



対応方針(案): 案1による対策が妥当  
 【計画概要】  
 ・路線名: 一般国道153号  
 ・区間: 長野県飯田市竹佐～飯田市北方  
 ・概略延長: 約4km  
 ・標準車線数: 4車線  
 ・設計速度: 60km/h  
 ・概ねのルート: 図8 案1の通り

(参考)当該事業の経緯等  
 計画段階評価及び都市計画決定等の状況  
 ・H29.12 第1回計画段階評価  
 ・H30.3～4 第1回意見聴取  
 ・H30.12 第2回計画段階評価  
 ・H31.2～4 第2回意見聴取  
 ・R1.10 第3回計画段階評価  
 ・R4.11 都市計画決定

地域の要望等  
 ・R3.11 国道153号飯田南バイパス整備促進期成同盟会が国土交通省に早期事業化を要望  
 ・R4.7 国道153号飯田南バイパス整備促進期成同盟会が国土交通省、財務省に早期事業化を要望  
 ・R4.11 長野県知事が国土交通政務官に新規事業化を要望  
 ・R4.11 国道153号飯田南バイパス整備促進期成同盟会が国土交通省、財務省に新規事業化を要望  
 ・R5.1 国道153号飯田南バイパス整備促進期成同盟会が国土交通政務官、財務省に新規事業化を要望  
 ・R5.2 長野県知事が国土交通大臣に新規事業化を要望